

	第 316 号 発行 2010年3月15日 佐賀市緑小路1-3 社会福祉法人 めぐみ厚生センター めぐみ園 0952(34)7722 富士学園 0952(63)0107 ウイズ富士 0952(51)0063 発行者 栗林 恵一 事務局 0952 (25) 2797 印刷所 (株)古川総合印刷
---	---

先日、映画『天地創造』がテレビで放映されていた。アララト山でノアが箱舟から動物を外に出している場面から見始め、バベルの塔、ソドムとゴモラの滅亡など、旧約聖書『創世記』の物語が画面に流れれる。最後に敬虔な信者アブラハムが、年老いてやつと授かつた一人息子イサクを生贊に差し出すようとの神の言葉に、「主はなんと残酷な試練をお与えになるのか。」と苦しみながらも旅支度をし、息子を連れて指定された山上に行き、息子を縛りつけ、薪に火を点け、剣で胸を突き刺そうとした瞬間、「息子に手を下してはならない。お前の信仰の深さはよく分かった。」との神の言葉が聞こえ、息子の代わりに子羊を生贊に捧げて映画は終わる。

ところで試練といえば、この十年間あまり福祉界には様々な変革がなされ、『社会福祉基礎構造改革』により措置費制度から支援費制度へと変わり、『施設福祉』より『地域福祉』へという考えが主流になつた。加えて会計制度についても『社会福祉法人経理規程

「新体系移行まで一年」

富士学園・ウイズ富士

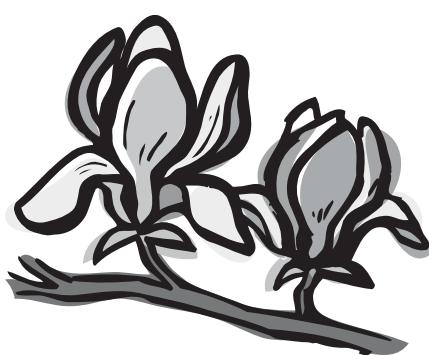
施設長 川崎俊朗



準則』より『社会福祉法人会計基準』へと変わり、福社会計には今までなかつた『減価償却』『基本金』『国庫補助金等特別積立金』ほか聞きなれない科目が入り、『事業活動収支計算書』が財務諸表に加わり、その新会計ソフトの導入操作習得も行い、普段の業務の他に多くの時間と労力を費やした。これらのこととはまさに試練といつても過言ではなかろう。

さて、当法人は二〇一一年度より障害者自立支援法へ移行することになつてている。『住まいの場』と『活動の場』に事業が大きく二つに分けられることになるのだが、知的障害者施設の多くにとつては、またまた大きな試練と言わざるを得ない。それは大幅な減収が見込まれるためである。先日、県内外の幾施設かの施設が集まり、自立支援法への移行についての懇話会が開催され、そこに参加させていたく機会を得た。ポイントは何と言つても『障害程度区分』で、見合つた判定をしていたくこと。介護度認定のための判定項目を基礎に構成されている現在の方

法は知的障害者にとって非常に不利といわれ、見直し法案が提出されたのが、昨夏、審議されぬまま廃案となつた。知的障害を持つ利用者の方々に大きな不利益をもたらす故に、私たち適正な判定をいただくためにも、利用者個々の障害について既往歴も含め細部に至るまで情報として提供できるよう完璧に準備しておくことが重要であろう。また判定いただく方々にもその情報を基に適正で公平な判定をお願いしたいのは勿論である。これだけの努力をしても恐らく減収は免れず、新体系に移行すれば新規事業や夜勤業務導入等に伴う職員の増員は必要で、人件費増が見込まれ、入所施設にとつて大きな試練となることは間違いない。移行への準備期間はあと一年余り。それでも試練はいつまで続くのである。





成人おめでとうございます



大人びた洋服に身を包み緊張した様子でした。たが、施設長より記念品が渡されると笑顔が見られました。まだまだあどけなさの残るお二人ですが、これからは大人としての自覚を持ち、自立した生活を送ってくれることを期待しています。

大人としてのこれから的人生が幸多きものとなるようこれからも頑張っていきましょう。



何が入っているかな…

祝 成人式

一月十二日、めぐみ園で今年成人式を迎えた二名の方のお祝いが礼拝後に行われました。



上手に点てることができるかな

お雑煮を頂戴しています

一月十二日、山下宗孝先生宅で初釜を体验しました。自宅庭に置かれた「つくばい」で手を清めて家内に入り、待合でサクラ茶を頂戴し、茶室へ入りました。コの字に座り、先生から一人ひとりに八寸・お雑煮、濃茶・薄茶と頂きました。濃茶は、初めて呑むもので、その濃厚さに戸惑う利用者さんもいました。濃茶・薄茶それぞれで違つ和菓子が出されて、それもまた楽しむ事が出来ました。

最後には、希望される利用者さんは、茶釜からお湯を汲み、お茶を点てることもできました。みんな初めてのことでの貴重な経験をさせてもらいました。

鳳寿苑では元めぐみ園に勤めておられた方がいろいろお世話をしていたとき、入所者の前で普段と変わらない力強い踊りを披露することが出来ました。又入所者の方の中には踊りを見て車イスより手を動かされたりしている方もおられ、印象的でした。

帰りには施設長さん及び職員の方より「良かつたですよ。元気をもらいました」と感謝の言葉をいただき本当に来て良かったと思いました。

めぐみ園

初釜

老人施設との交流

佐賀城下ひなまつり見学



♪踊りもバッチャリ決っま～る～!!♪



「佐賀の春は、ひな浪漫」です。

去る一月十四日、雪の降る寒い日でしたが、特別養護老人ホーム「鳳寿苑」と職員二名で踊りの衣装に着替えて参加しました。

館内では、加賀前田家の里帰りとして数多くの雛人形が飾られ、利用者の皆さんには、興味深そうに見入っていました。

二月二十二日、活動班の十名と職員と一緒に、徵古館まで「鍋島家のおひなさま」を見学に行きました。

館内では、加賀前田家の里帰りとして数多くの雛人形が飾られ、利用者の皆さんには、興味深そうに見入っていました。

た。なりまし
時間と
は楽し
んといつ
者との会
話も生ま
れ、利用
者の皆さ
んといつ
うで、時
間の経過
と共に会
話を打ち
切り組ま
れました。
最初は緊張され
るようであ
したが時
間の経過
と共に会
話を打ち
切り組ま
れました。



最後は打ち解けて



やや緊張気味
に佐賀県
警察学校
の学生八
十三名が
来訪され
ました。

オリエン
テーションの後、富士学園・ワイズ富

士の利用者の活動されている場所に分
かれ、趣味的活動や箱折りを一緒に取
り組まれました。最初は緊張されてい
るようですが時間が経過と共に会話を
打ち解けていました。

二十二日
十一日・
一二月二

佐賀県警察学校施設体験

富士学園

鬼は外！福は内！
～季節を感じる日本の行事～

二月五日のレクリエーションでは、
ちょっと変わった豆まきをしました。
鬼に扮した職員めがけて飛んでくるのは
紅白の玉。豆を使うと拾って食べる

方がおられて危険なので、こうした形
で節分の雰囲気を味わっていただきま
した。利用者の方々は手作りした鬼の
面を被り、元気に玉を投げておられま
した。「お面を子供にあげたら喜ぶだ
ろう」「豆が食べたかった」「本物の豆
がよかつた」等、様々な意見・ご感
想をいただき、大変にぎやかなひとと
きとなりました。

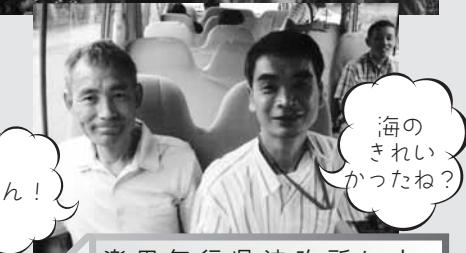


ストレス発散！？

希望通所フォトギャラリー 2009 ウイズ富士



仁比山公園・波戸岬
鏡山公園どの写真が
どこか分かりますか？



ウイズ富士では、月に一～二回程希望通所を実施しています。昨年は、仁比山公園・波戸岬・鏡山公園等県内いろんな場所に行きました。毎回、たくさん利用者の方が参加され楽しめています。

(ルカによる福音書 六章四十五節)
聖句
　　^{いい人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は、悪いものを入れた倉から悪いものを出す。人の口は、心からあふれ出ることを語るのである。}



富士学園利用者林田昭平様がこのたび成人の仲間入りをさ

祝成人



久しぶりの大雪にワクワク
一月十三日、この冬一番の積雪を記録しました。
寒さも忘れ、皆さん雪だるま作りに夢中です。出来上がりに大満足の様子で、心も体もぽつかんぽつかの一日でした。

久しぶりの大雪にワクワク
一月十三日、この冬一番の積雪を記録しました。

ふれあい

富士学園

佐賀西高校吹奏楽演奏会

一月三十一日、佐賀西高校吹奏楽部の皆さん來園されました。利用者の皆さんは、様々な楽器の音色に耳を傾け、迫力ある演奏に感動。音楽を通して交流を深めた一日でした。有難うございました。



♪心に響く演奏をありがとうございました♪

す。
　　^{が特徴で}
　　<sup>す。
　　^{が特徴で}</sup>



道の駅「そよかぜ館」にて、好評販売中！

あとがき
間もなく桜の開花、そして新年度のスタートです。編集委員一同、新年度もフレッシュな気持ちを忘れず誌面の充実をはかりたいと思います。

法人ホームページのご案内
めぐみ厚生センターではホームページを開設し、各施設の事業ガイドや最近の出来事、センターだよりのバックナンバー等公開しています。グーグル・ヤフーなどの検索サイトにて「めぐみ厚生センター」で検索すればすぐにご覧になりますので一度お試しあれ。

何でもコーナー

事業ガイド

- 《めぐみ園》
 - ・生活介護事業 「どりいむ」
 - ・地域活動支援センター

- 《富士学園》
 - ・ケアホーム8ヶ所